

1. 本授業科目の基本情報			
講義名 (コード)	TGB175A	ビジネス日本語 I A	
科目名 (コード)	TGB175	ビジネス日本語 I A	
対象学科	グローバルビジネス学科	配当学年	1年生
対象コース	GB1	単位数	2単位30
授業担当者	槌谷 智子	時間数	
成績評価教員	槌谷 智子	講義期間	春期
実務者教員		履修区分	選択必修
実務者教員特記欄			講義

2. 本授業科目の概要	
到達目標・目的	日本語を使ったビジネスを行う上で十分な日本語力を養い、日本語能力試験N2の取得を目指す。
全体の内容と概要	N2の文字語彙文法を中心に学ぶ。試験形式と同様の4択問題を使い資格試験の対策をしっかりと行う。試験形式とは異なるが、語彙を書かせる問題にも取り組みしっかりとした定着を目指す。
授業時間外の学修	授業で学んだ語彙、漢字を復習しておくこと。
履修上の注意事項等	学生の希望等によりスケジュールは変更する場合がある。出席が2/3以上の場合のみ成績評価を行う。満たない場合は単位不合格になる。

3. 本授業科目の評価方法・基準			
評価前提条件	下記基準に従う。出席は2/3以上が必要となる。1/3以上の欠席の場合、自動的に落第となる。		
評価基準	知識 (期末試験点) 60%	自己管理能力 (出席点) 30%	協調性・主体性・表現力 (平常点) 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90~100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80~89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70~79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60~69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。	

4. 本授業科目の授業計画		
回	到達目標	授業内容
1	親類・友人・知人に関する語彙の習得	ガイダンス 完全マスター語彙N2 1章人間1課 スピードマスター漢字N2 UNIT1-1
2	親類・友人・知人に関する語彙の習得漢字の習得	完全マスター語彙N2 1章人間1課 スピードマスター漢字N2 UNIT1-2
3	人の性格・特徴に関する語彙の習得	完全マスター語彙N2 1章人間2課題 スピードマスター漢字N2 UNIT1-3
4	人の性格・特徴に関する語彙の習得	完全マスター語彙N2 課題FB スピードマスター漢字N2 課題FB UNIT1-4
5	感情・行動に関する語彙の習得漢字の習得	完全マスター語彙N2 1章人間3課 スピードマスター漢字N2 UNIT1-5
6	感情・行動に関する語彙の習得漢字の習得	完全マスター語彙N2 1章人間3課 スピードマスター漢字N2 UNIT2-1
7	食生活に関する語彙の習得漢字の習得	完全マスター語彙N2 2章生活1課 スピードマスター漢字N2 UNIT2-2
8	食生活に関する語彙の習得漢字の習得	完全マスター語彙N2 2章生活1課 スピードマスター漢字N2 UNIT2-3
9	家事に関する語彙の習得漢字の習得	完全マスター語彙N2 2章生活2課 スピードマスター漢字N2 UNIT2-4
10	家事に関する語彙の習得漢字の習得	完全マスター語彙N2 2章生活2課 スピードマスター漢字N2 UNIT2-5
11	健康に関する語彙の習得漢字の習得	完全マスター語彙N2 2章生活3課 スピードマスター漢字N2 UNIT3-1
12	健康に関する語彙の習得漢字の習得	完全マスター語彙N2 2章生活3課 スピードマスター漢字N2 UNIT3-2
13	前期の内容の理解と定着	前期のまとめ
14	期末試験	学期試験
15	追試・フィードバック	Feedback

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等	
教科書	『完全マスター語彙N2』 『スピードマスター漢字N2』
参考文献・資料等	適宜配布
備考	水曜日3限